

2025年11月26日

NTTドコモビジネス株式会社
株式会社NTTドコモ

「HAPS ユースケース創出コンテスト」において最優秀賞を決定

～株式会社 MizLinx の『HAPS とカーボンクレジットで未来へつなぐ一次産業』が最優秀賞～

NTTドコモビジネス株式会社（旧 NTTコミュニケーションズ株式会社、以下 NTTドコモビジネス）と株式会社NTTドコモ（以下 ドコモ）は、2025年11月26日に開催した「能登 HAPS^{※1} パートナープログラム^{※2} 第3回ミーティング」における「HAPS ユースケース創出コンテスト（以下 本コンテスト）」にて、株式会社 MizLinx の『HAPS とカーボンクレジット^{※3} で未来へつなぐ一次産業』を最優秀賞に決定しました。

なお、本コンテストは、NTTドコモビジネス、ドコモが運営する「能登 HAPS パートナープログラム」の取り組みのひとつです。

1. 本コンテストの概要

本コンテストは、「スマートフォンや IoT 機器との直接通信・高速大容量・低遅延」および「リモートセンシングの高度化」といった HAPS の特徴を活用し、地域の課題解決や産業発展に寄与するユースケースを募集するものです。

全国から 20 件の応募があり、2025年11月26日に実施した「能登 HAPS パートナープログラム第3回ミーティング」において、一次選考を通過した 5 団体が最終プレゼンテーションを行い、最優秀賞および優秀賞を選出しました。

2. 受賞ユースケース

最優秀賞：『HAPS とカーボンクレジットで未来へつなぐ一次産業』

団体名：株式会社 MizLinx

概要：一次産業分野では、近年の地球温暖化に伴う生態系変化の影響から、不漁不作が大きな課題となっています。この課題へのアプローチとして、HAPS の通信機能や搭載カメラを活用し、海上や山間部などこれまで通信やデータ取得が難しかった現場の広域モニタリングを実現することで、カーボンクレジット創出を支援し、地方創生・脱炭素の両面から一次産業の持続可能性向上をめざします。具体的には、海の藻場^{※4}が Co2 を吸収するブルーカーボンや、森林・水田が Co2 を吸収するグリーンカーボンを対象とした、精細な映像・画像を取得することで、藻場再生や森林・水田管理の最適化を行い、生態系保全と脱炭素、生産者還元を両立させる仕組みを検証します。

審査員特別賞：

団体名	タイトル
国立大学法人金沢大学	宇宙デブリの大気圏大量廃棄時代を見据えた成層圏エアロゾル汚染測定技術の構築と実証

優秀賞：

団体名(50音順)	タイトル
国際航業株式会社	HAPS を活用したインフラ施設管理 DX の高度化
仙台市	HAPS を活用した都市レジリエンスの向上
株式会社ティアフォー	HAPS 連携による自動運転 L4 サービスの「超広域・高信頼化」と地方創生への貢献

3. 今後の展開

今後も NTT ドコモビジネスとドコモは、2026 年の HAPS サービス提供開始に向け、取り組みを推進します。能登 HAPS パートナープログラム参加団体の皆さまと連携し、HAPS を活用した多様なユースケースを共創することで、能登の復興に貢献するとともに、地域の社会課題の解決をめざします。

-
- ※1：HAPS とは、High-Altitude Platform Station の略称です。地上約 20km 上空の成層圏を数日～数か月の長期間に渡って無着陸で飛行できる無人飛行体を指します。機体には中継器などを搭載し、直径 100～200km 程度のエリア化が可能となり（機体設計により変動）、従来エリア化が困難であった空、海上をはじめ、採算性の観点からエリア化されていなかった過疎・中山間地域なども対象とすることが検討されています。
 - ※2：能登 HAPS パートナープログラムとは、ドコモと NTT ドコモビジネスが 2024 年 11 月 26 日（火）に石川県と締結した包括連携協定における取り組みのひとつです。石川県能登をフィールドに HAPS を活用し地域活性化や新規ソリューション創出を検討するプログラムで、全国から 67 団体が参加しています（2025 年 11 月 1 日時点）。
 - ※3：カーボンプレジットとは、Co2 など温室効果ガスの削減や吸収の成果を数値化し、証書として発行・売買できる仕組みです。
 - ※4：藻場とは、海底や沿岸に海藻が繁茂し、魚介類の産卵・生育の場となる重要な海洋生態系の一部のことです。